令和7年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会水球競技
【結果速報】

No.2

試合　M01　1回戦

【2025/8/17】

関西	10	3 − 3 0 − 6 3 − 5 4 − 7 PSO			21	前橋商業

審判1　坂井奎太

審判2　吉田涼吾

No.	Name	被シュート数	失点	セーブ率
GK1	平井　穏	0	0	
GK13	奥田　雄太	33	21	13%

No.	Name	被シュート数	失点	セーブ率
GK1	富岡　颯大	34	10	44%
GK13		0	0	

No.	Name	シュート数	得点	PF数
GK1	平井　穏			
2	服部　新平	16	6	2
3	杉本　帆士			
4	白尾　嘉大	2	1	
5	竹藤　胡虎	10	1	2
6	逸見　光	2	1	1
7	原　桃太	2	1	
8	和泉　羽琉	2		3
9	宮田　聖也			1
10	佐藤　慧吾			1
11	西岡　颯太			
12				
GK13	奥田　雄太			

No.	Name	シュート数	得点	PF数
GK1	富岡　颯大			
2	関口　快巧			
3	深澤　陸之助	5	4	
4	齋藤　優輝	9	5	1
5	椎名　啓五	5	2	2
6	前田　敦也	10	8	
7	星　颯来	2	1	1
8	福島　圭悟	1	1	
9	竹腰　壮大			
10	倉林　幸広	1		
11	粕川　泰雅			
12				
GK13				

R7 インハイ水球 Web サイト

https://j-waterpolo.net/25Yamaguchi/index.html

No. 1

令和７年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会
第93回日本高等学校選手権水泳競技大会（水球）

水 球 競 技 戦 評

期日：令和７年８月１７日（日）
会場：山口きらら博記念公園水泳プール

ゲームNo. 1

帽子の色 白			帽子の色 青
関西	10	3－3 0－6 3－5 4－7 PSO	21 前橋商業

審判１：　坂井　奎太
審判２：　吉田　涼吾

戦　評

令和７年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会（水球）兼第 93 回日本高等学校選手権水泳競技大会（水球）の開幕戦は、中国ブロック２位通過の関西高校と、関東ブロックを制した優勝候補・前橋商業高校によって行われた。伝統ある名門・関西高校が勢いをもって挑むか、あるいは盤石の布陣を誇る前橋商業がその実力を示すか、注目を集めた一戦であった。

第１ピリオド、試合の口火を切ったのは関西高校であった。開始早々②服部の巧みなループシュートで先制点を奪うと、さらにフリースローから追加点。⑦原の数的優位を活かしたシュートも決まり、序盤から果敢な攻撃を展開した。対する前橋商業も落ち着きを失わず、⑤椎名が退水を誘発すると⑥前田が確実に決めて反撃の狼煙を上げる。④齋藤は冷静にフリースローを沈め、さらに③深澤も技ありのシュートを決めるなど得点を重ね、１ピリオドを３－３の同点で終えた。互いに持ち味を発揮し合い、緊張感の漂う開幕戦らしい立ち上がりとなった。第２ピリオドは前橋商業の攻撃力が一気に爆発した。④齋藤がカウンターから相手守備を突破し先制すると、⑤椎名も数的優位から追加点。⑥前田がフリースローを沈め、さらに齋藤、⑧福島、③深澤と畳みかけるようにゴールを重ね、わずか１ピリオドで６連続得点を奪った。関西高校も粘り強く守備を試みたが、相手の多彩な攻撃を止めることができず、このピリオドを無得点で終える。前半を終えてスコアは９－３と大きく前橋商業がリードを広げた。第３ピリオドに入ると、関西高校は意地を見せる。⑦原が退水を誘発しタイムアウト後、⑤竹藤がフェイクから豪快にゴール。さらに②服部が持ち前の突破力で得点を重ね、このピリオドだけで３得点を挙げる活躍を見せた。しかし前橋商業は落ち着きを崩さず、④齋藤が左サイドからゴールを奪い、⑤椎名の巧みなアシストから⑥前田が決める。③深澤もカウンターで加点し、終盤には⑥前田が連続でネットを揺らした。スコアは 14－6 と、前橋商業が依然として優位を保つ。最終第４ピリオド、関西高校は最後まで攻撃の手を緩めず、④白尾、②服部、⑥逸見らが次々にゴールを決めた。特にキャプテン②服部はこの試合で計６得点を挙げ、チームを鼓舞する働きを見せた。だが前橋商業も試合終盤まで圧巻の攻撃力を発揮。⑥前田がゴール前で相手を翻弄して立て続けに得点し、最終的にこの試合で８得点を記録。④齋藤も５得点、③深澤や⑤椎名も複数得点を挙げ、攻撃の多彩さと層の厚さを存分に示した。終了間際には②関口が獲得したペナルティを⑦星が沈め、試合を締めくくった。最終スコアは 21－10。前橋商業が優勝候補に相応しい実力を見せつけ、危なげなく初戦を突破した。特に⑥前田のポストプレーは圧巻であり、得点力のみならず相手ディフェンスを引きつける働きでチーム全体の攻撃を活性化させた。また④齋藤は試合を通じて冷静にゲームをコントロールし、カウンターからの展開力でも光った。守備陣も GK①富岡の好セーブを随所で発揮し、チームに安定感を与えた。

敗れた関西高校も決して力負けではなく、②服部を中心に積極的な仕掛けを続け、最後まで得点を重ね続けた姿勢は称賛に値する。攻撃力の高さを発揮する場面もあり、課題となる守備の修正ができれば次戦以降の健闘が大いに期待される。特に若手選手の⑤竹藤や⑦原の躍動は、今後の成長を感じさせる内容であった。

開幕戦らしい緊張感と熱戦が繰り広げられた本試合は、前橋商業の総合力と、関西高校の粘り強さが際立つ内容となった。今後の両校のさらなる躍進に注目したい。

記　録　者	菅原剛・加藤博一・伊藤秀幸